2025（令和７）年度看護の出前授業

令和7年7月17日（木）

真岡市立久下田中学校で、全校生徒を対象に看護の出前授業をおこないました。

芳賀赤十字病院の看護師が、「看護師・保健師・助産師のお仕事」「仕事の特性や内容」「必要な資格と取得方法」「病棟看護師の一日」を全校生徒に向けてお話ししました。また、久下田中学校の卒業生の看護師も同行し、看護師になった動機や中学校時代の思い出などをお話ししました。

その後、3年生と保健委員を対象に、聴診器・血圧計に実際に触れて体験も行いました。

〇将来の仕事には、能力だけでなく、思いも大切だという事がわかりました。誰かのためになりたいという思いで、将来の仕事を考えようと思いました。
〇「働く」とは深く考えさせられた。
〇実際に看護師の方から話を聞き、興味を持つことができた。
〇看護師を目指しているので、看護師の方のお話を聞き、夢のために頑張りたいと思った。

2025（令和７）年度看護の出前授業

令和7年7月4日（金）

那須塩原市立黒磯中学校で、2年生を対象に看護の出前授業をおこないました。

菅間記念病院の看護師が、「看護職とは」「看護師の実際」「看護職になるには」などについてお話ししました。

また、「血圧測定の実践」や物品見学（注射器・採血管・聴診器・ペンライトなど）も行いました。

看護師だけでも様々な仕事があり、人の役に立っているとすごくわかりました。
興味を持っていたのでより詳しく聞くことができて、ずっとワクワクしていました。
とても楽しかったです。

講師の方から

この出前授業を通して看護師という仕事にいかに興味を持っていただけるかと考え、興味を持てるような内容にできるよう心がけました。

2025（令和７）年度看護の出前授業

令和7年6月20日（金）

那須塩原市立共英小学校で、5年生児童を対象に看護の出前授業をおこないました。

那須北病院の看護師が、「看護師とは」「看護師の仕事内容」「福祉の目で見た看護師の役割」「看護職への道」などについてお話ししました。

また、聴診器で心音を聴く、滅菌ガウン・手袋の着脱、などたくさんの体験も行いました。

看護師さんの仕事が良くわかりました。
クイズやいろいろな道具を実際に触って体験することができて、楽しかったです。
看護師さんの大変さを知ることができました。

2025（令和７）年度看護の出前授業

令和7年6月17日（火）

栃木県立壬生高等学校で、1～3年生を対象に看護の出前授業をおこないました。
獨協医科大学病院の看護師3名（2名が壬生高等学校の卒業生でした）が、「看護職になるために」「看護職の仕事内容・フィールド」「看護師国家試験等について」などについてお話ししました。
また、卒業生である先輩看護師から、看護師になった動機ややりがい・魅力、高校時代に頑張った事などもお話ししました。

この出前授業を通して

○1・2年生は、看護職について深く知ることで、更に興味を持つきっかけとなった。
看護師になりたい気持ちが強くなった。
やりがいも大変なこともある。コミュニケーションを大事にしたい。
○3年生は、現在の医療現場の状況を知ることができた。また、学校や、国家試験の情報など、とても役に立つと思った。
更に看護師になりたい強くと思った。

講師の方から
看護職は、人と直接かかわる仕事であり、自己表現や話を聞く能力を養い、様々な人とのコミュニケーションを通じて、気持ちに寄り添うことの大切さをお話ししました。
皆、真剣に話を聞いてくださり、楽しく体験をしている様子が見られました。